

# 出版社共同ネット 倉庫側システム仕様書

初版 2006/04/01  
第二版 2006/07/10  
第三版 2006/07/14  
第四版 2007/02/15  
第五版 2009/01/20  
第六版 2009/02/06

# 目次

1 . 環境	
1 . 1 . F T PによるファイルのP u tとG e t	p . 3
1 . 2 . 倉庫会社側に必要な環境	p . 3
2 . データ種類	p . 3
3 . データフォーマット	p . 4
4 . F T Pファイル送受信手順	
4 . 1 . F T P送受信方法について	p . 9
4 . 2 . 倉庫会社に送られる結果メール	p . 1 3

この資料は著作者により予告無く変更になる場合がありますのでご了承ください。

## 1. 環境

### 1.1. FTPによるファイルのPut と Get

出版社共同ネットセンターとのデータの受け渡しは、共同ネットFTPサーバーとの情報連携となります。各倉庫会社毎に用意した指定のディレクトリからの受注データのGet 及び指定のディレクトリへの倉庫側データのPut によって情報連携を行います。

情報連携に関する仕様・詳細は「4. FTPファイル送受信手順」を参照してください。

### 1.2. 倉庫会社側で必要な環境

出版社共同ネットセンターとの情報連携を行う為、インターネット網によるファイル送受信に対応した環境が必要となります。

## 2. データ種類

- ・倉庫会社                      共同ネットセンター (Put)
  - 書誌データ (差分)
  - A.基本 データ  
( ISBN、書名、本体価の3項目)
  - B.基本 データ
  - 削除データ (差分)
  - 在庫データ (全件)
  - 出荷データ (発生分)
  - 倉庫会社 - 倉庫支社 - 版元 対応データ (全件)
  - 版元 - 帳合取次 対応データ (全件)
- ・共同ネットセンター              倉庫会社 (Get)
  - 受注データ (発生分)

} どちらか  
でよい

※①～⑦までの全データにおけるファイル形式はCSV形式(セパレータは'|' 終わりはLF)となります。

### 3. データフォーマット

書誌データ (差分)  
(Aの基本データ もしくは Bの基本データ のいずれか)

A..基本 データ

項番	項目名	サイズ	説明
01	データ区分	VARCHAR2(1)	'A'をセット
02	版元コード	VARCHAR2(4)	取次取引コード
03	ISBN	VARCHAR2(13)	-なしの13桁 新ISBNに対応 または雑誌バックナンバーコード
04	書名	VARCHAR2(80)	
05	書名区分	VARCHAR2(1)	書名全角の時: (スペース) 半角の時: 1 雑誌全角の時: 2 半角の時: 3
06	本体価格	NUMBER(10)	
07	作成日	DATE	西暦 例) 20051121

#### ※書名区分について

雑誌を送信する場合に2、または3をセットしてください。2、または3以外の場合は雑誌として扱われません。

#### ※雑誌バックナンバーコードについて

WEB画面上に雑誌情報を掲載する為、雑誌コードがユニークであることが必須となります。  
雑誌バックナンバーコードはs-bookの付番ルールに則り下記方法にて設定してください。

【雑誌コード(7桁)】&【発行年-1900】

例)雑誌コード1234567 発行年2008年 の場合 【1234567108】

#### ※書名・書名区分について

書名に半角・全角が混在する場合には書名区分を”全角”と設定してください。

※A.基本データ I の場合は全てが必須項目となります。

B. . 基本 データ

項番	項目名	サイズ	説 明
0 1	データ区分	VARCHAR2(1)	' B ' をセット
0 2	版元コード	VARCHAR2(4)	取次取引コード
0 3	I S B N	VARCHAR2(13)	- なしの 1 3 桁 または雑誌バックナンバーコード
0 4	書名 (半角カナ)	VARCHAR2(40)	} どちらかで良い
0 5	書名 (全角カナ)	VARCHAR2(80)	
0 6	書名 (漢字)	VARCHAR2(80)	
0 7	シリーズ名 (半角カナ)	VARCHAR2(40)	} どちらかで良い
0 8	シリーズ名 (全角カナ)	VARCHAR2(80)	
0 9	シリーズ名 (漢字)	VARCHAR2(80)	
1 0	種別	VARCHAR2(8)	コミック、書籍、ムック、雑誌等
1 1	ジャンルコード	VARCHAR2(4)	Cコード
1 2	著者名 1 (半角カナ)	VARCHAR2(40)	} どちらかで良い
1 3	著者名 1 (全角カナ)	VARCHAR2(80)	
1 4	著者名 1 (漢字)	VARCHAR2(80)	
1 5	著者名 2 (半角カナ)	VARCHAR2(40)	} どちらかで良い
1 6	著者名 2 (全角カナ)	VARCHAR2(80)	
1 7	著者名 2 (漢字)	VARCHAR2(80)	
1 8	著者名 3 (半角カナ)	VARCHAR2(40)	} どちらかで良い
1 9	著者名 3 (全角カナ)	VARCHAR2(80)	
2 0	著者名 3 (漢字)	VARCHAR2(80)	
2 1	内 容	VARCHAR2(2000)	存在すればで良い
2 2	巻数	VARCHAR2(8)	キャラクタータイプ 例) 1 巻
2 3	発売日	DATE	西暦 例) 19980301
2 4	判型	VARCHAR2(20)	キャラクタータイプ 例) B 6 判
2 5	頁	NUMBER(5)	例) 200
2 6	定価	NUMBER(10)	例) 1680
2 7	本体価	NUMBER(10)	例) 1600
2 8	親・子区分 (セット、全集)	VARCHAR2(1)	親 : 0 子 : 1
2 9	子の時、親の I S B N	VARCHAR2(13)	
3 0	作成日	DATE	西暦 例) 20051121
3 1	予備1 雑誌の時、発行日	DATE	西暦 例) 19980301
3 2	予備2 雑誌の時、発行形態	VARCHAR2(20)	週刊、月刊、隔月刊

※○は必須項目となります。

※種別について

種目は必須ではありませんが、対象書誌が雑誌である場合には「雑誌」をセットしていない場合、雑誌検索の対象外となります。

※著者名 (項番: 12~20) について

著者名 1~3 は「漢字」及び「カナ (半角全角のどちらか)」の 2 項目にデータが入っていない場合、著者情報を WEB サイト側へ送信しません。そのため、著者による書誌の検索が行えなくなります。

削除データ（差分）

項番	項目名	サイズ	説明
01	I S B N	VARCHAR2(13)	- なしの13桁 または雑誌バックナンバーコード
02	作成日	DATE	西暦 例) 20051121

在庫データ（変更分置換）

項番	項目名	サイズ	説明
01	I S B N	VARCHAR2(13)	- なしの13桁 または雑誌バックナンバーコード
02	在庫ステータス *1	NUMBER(2)	
03	調整フラグ *2	NUMBER(2)	
04	作成日	DATE	西暦 例) 20051121
05	ステータス	NUMBER(2)	新出版ネットワーク在庫ステータス

\*1 在庫表示について：在庫のステータスを入れる。

1 : 在庫あり

2 : 在庫なし

\*2 出庫の調整をします。

0 : 調整なし

1 : 補充は1日3冊まで、客注は1日9冊まで

2 : 補充は1日5冊まで、客注は1日9冊まで

3 : 補充は1日7冊まで、客注は1日9冊まで

9 : 補充は無し、客注のみ1日3冊まで

出荷データ（発生分）

項番	項目名	サイズ	説明
01	出荷日	DATE	西暦 例) 20051121
02	受注ID	NUMBER(8)	受注番号
03	個数	NUMBER(5)	出荷冊数
04	I S B N	VARCHAR2(13)	- なしの13桁 または雑誌バックナンバーコード
05	作成日	DATE	西暦 例) 20051121

倉庫会社 - 倉庫支社 - 版元 対応データ (全件置換)

項番	項目名	サイズ	説 明
0 1	倉庫会社コード	VARCHAR2(4)	
0 2	倉庫支社コード	VARCHAR2(4)	ない場合は0 0 0 1
0 3	版元コード	VARCHAR2(4)	取次取引コード
0 4	版元名(半角カナ)	VARCHAR2(5 0)	五十音順用
0 5	版元名(全角)	VARCHAR2(5 0)	
0 6	作成日	DATE	西暦 例) 20051121

版元 - 帳合取次 対応データ (全件置換)

項番	項目名	サイズ	説 明
0 1	版元コード	VARCHAR2(4)	取次取引コード
0 2	取次コード	VARCHAR2(3)	取協コード 例) 101 ト-ハン
0 3	作成日	DATE	西暦 例) 20051121

### 受注データ（発生分）

- ・客注は、1受注ID 1レコードです。
- ・補充は、1受注ID 複数レコードの場合があります。  
ただし、ISBNは重複しません。（つまり受注IDとISBNがキーとなります。）

#### ヘッダ部

項番	項目名	サイズ	説明
01	レコード区分	VARCHAR2(3)	"HED"
02	S-BOOK処理日	DATE	西暦 例) 20051121
03	センター処理日	DATE	西暦 例) 20051121

#### データ部

項番	項目名	サイズ	説明
01	レコード区分	VARCHAR2(3)	"DAT"
02	倉庫会社コード	VARCHAR2(4)	
03	倉庫支社コード	VARCHAR2(4)	ない場合は0001
04	版元コード	VARCHAR2(4)	取次取引コード
05	受注区分	VARCHAR2(1)	0:補充 1:客注
06	受注ID	NUMBER(8)	受注番号
07	共有書店コード	VARCHAR2(6)	
08	ISBNコード	VARCHAR2(13)	-なしの13桁 または雑誌バックナンバーコード
09	受注部数	NUMBER(5)	
10	個人情報(住所)	VARCHAR2(120)	空白
11	個人情報(氏名)	VARCHAR2(40)	客注氏名
12	個人情報(電話番号)	VARCHAR2(13)	客注No等
13	受注日	DATE	西暦 例) 20051121
14	受注時刻	TIME	HHMMSS
15	雑誌フラグ	VARCHAR2(1)	0:書籍 1:雑誌
16	取次コード	VARCHAR2(3)	取協コード 例) 101 トーハン
17	取次書店コード	VARCHAR2(8)	
18	書店名 *1	VARCHAR2(40)	
19	番線	VARCHAR2(8)	
20	作業コード *2	VARCHAR2(8)	
21	取次出版VANフラグ	VARCHAR2(1)	0:対象外 1:対象

#### トレイラ部

項番	項目名	サイズ	説明
01	レコード区分	VARCHAR2(3)	"TRL"
02	受注件数	NUMBER(8)	データレコードの総件数
03	受注部数	NUMBER(8)	データレコードの総受注部数

### ※ 出荷明細について

出荷作業時に、商品とともに送付する出荷明細には、受注データ内にある「書店名」ではなく取次にて使用されている「取次書店名」を優先して印字するようにしてください。（\*1）  
また、印字する作業コードは、受注データ内にある「作業コード」を優先して印字するようにしてください。（\*2）  
取次が使用する書店名と受注データの書店名が異なる場合、また、書店指定の作業コードを使用しない場合は、取次・書店でのトラブルの原因となります。  
（その他、出荷明細以外でも、書店名・作業コードを記載し、商品と同送する印刷物がある場合には同様の対応を行ってください。）



#### 4. FTPファイル送受信手順

##### 4.1. FTP送受信方法について

共同ネットセンターでは2パターンのファイル送受信に対応しております。

##### チェックテキストを使用しないデータのみ送受信

FTPサーバのファイル存在確認での送受信となります。

注) FTPファイルの削除やセンターのデータ取込洩れ(ファイル存在確認)などの確認が必要となります。

##### チェックテキストを使用した送受信

倉庫会社様、センター共にチェックファイルを使用することで、お互いの処理終了を確認しあうことが出来ます。

これにより、アップロード・ダウンロードされた各種ファイルの信頼性を高めます。

##### チェックテキストとは

FTP送受信ファイルの作業完了状態を記録するファイルで、必ずファイル送受信時に更新し、FTPにアップロードします。  
(チェックテキストは各送受信ファイル毎に用意されます。「C.FTPファイル対応表」を参照下さい。)

##### ファイルの内容(センター、倉庫共通)

“0”・・・相手側がダウンロード済みの状態であることを表します。(新しいファイルのアップロード可能状態である)

“1”・・・相手側がアップロード済みの状態であることを表します。(新しいファイルのダウンロード可能状態である)

倉庫、センター共に、このファイルの作業状態を確認し、それに伴う処理を行います。

・アップロード時に、内容が“0”であれば、ダウンロード済みなのでアップロード可能

内容が“1”であれば、ダウンロード未なので、別名にしてアップロード。

・ダウンロード時に、内容が“1”であれば、アップロード済みなのでダウンロード可能

内容が“0”であれば、アップロード未なので、ダウンロード不可。

##### ※アップロード時ファイル存在・チェックテキストダウンロード未の場合

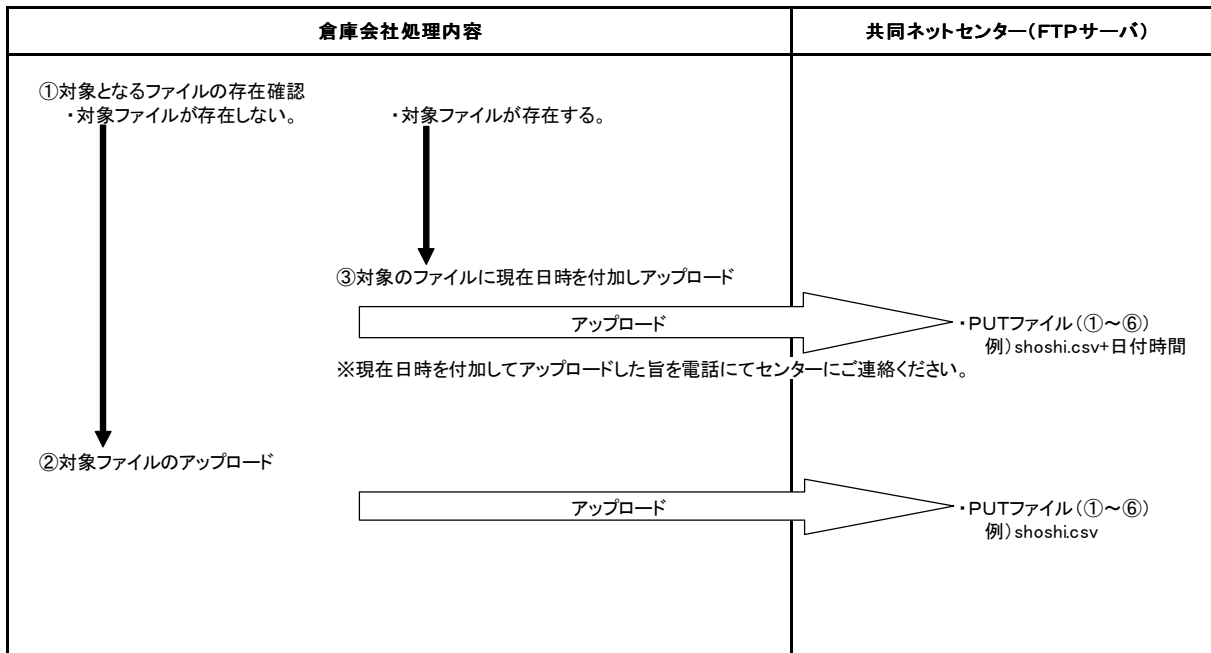
チェックテキストを使用しない場合の対象ファイル存在時、または、チェックテキスト使用時の内容“1”(ダウンロード未)の場合には、別名(ファイル名後に日付時間を付加)にして、アップロードを実行を行い、センターにご連絡下さい。

同様に、センター側から受注ファイルのアップロードが出来ない場合には、メールにてご連絡、ファイルを添付配信いたします。

メール内容に関しましては、「4.2. 倉庫会社に送られる結果メール」を参照してください。

**A. チェックテキスト未対応パターン**  
**・ファイルアップロード(PUT)**

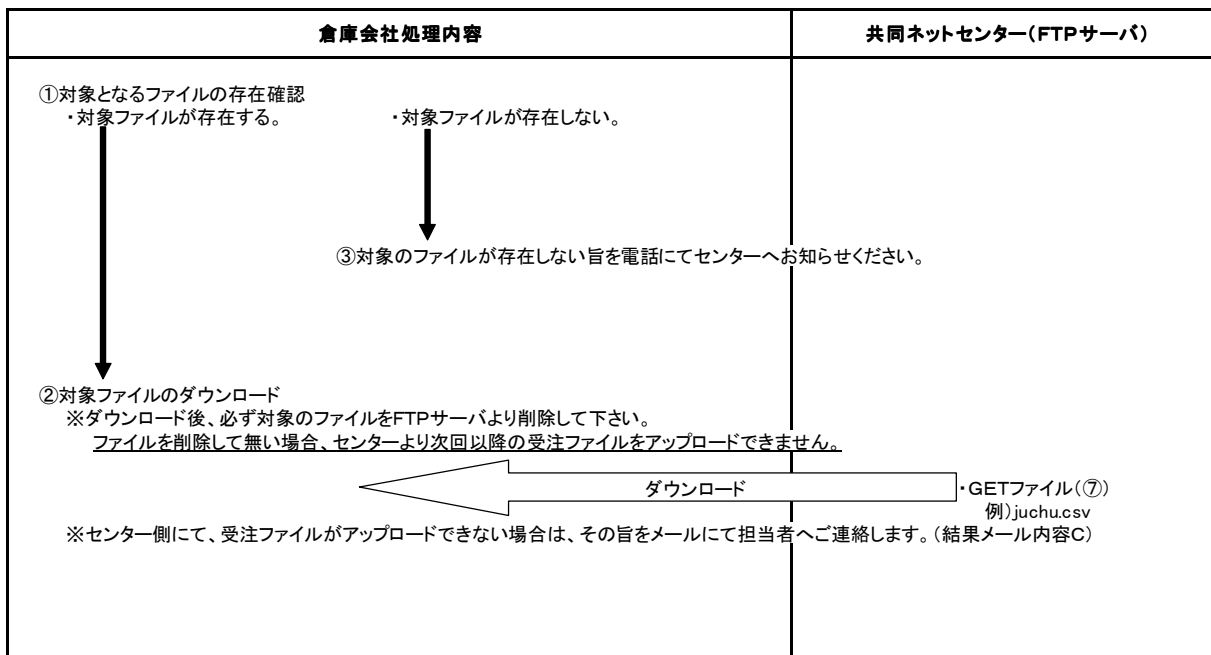
対象ファイル各種(①～⑥)PUT時にチェックテキストを使用せずにファイルアップロードを行うことも可能となります。  
 チェックテキストを使用しないことでデータ取込洩れのチェックがより一層必要となりますのでご注意ください。



※ 共同ネットセンターで行われた処理結果は各倉庫会社の担当者様宛てにメールでご連絡します。(結果メール内容A)  
 ※ データのPUTがタイムスケジュールより遅れた場合には電話にてセンターにご連絡ください。  
 遅れ分データのS-BOOKへの反映は翌日となります。(翌日分のデータと共にS-BOOKへ反映されます)

**・ファイルダウンロード(GET)**

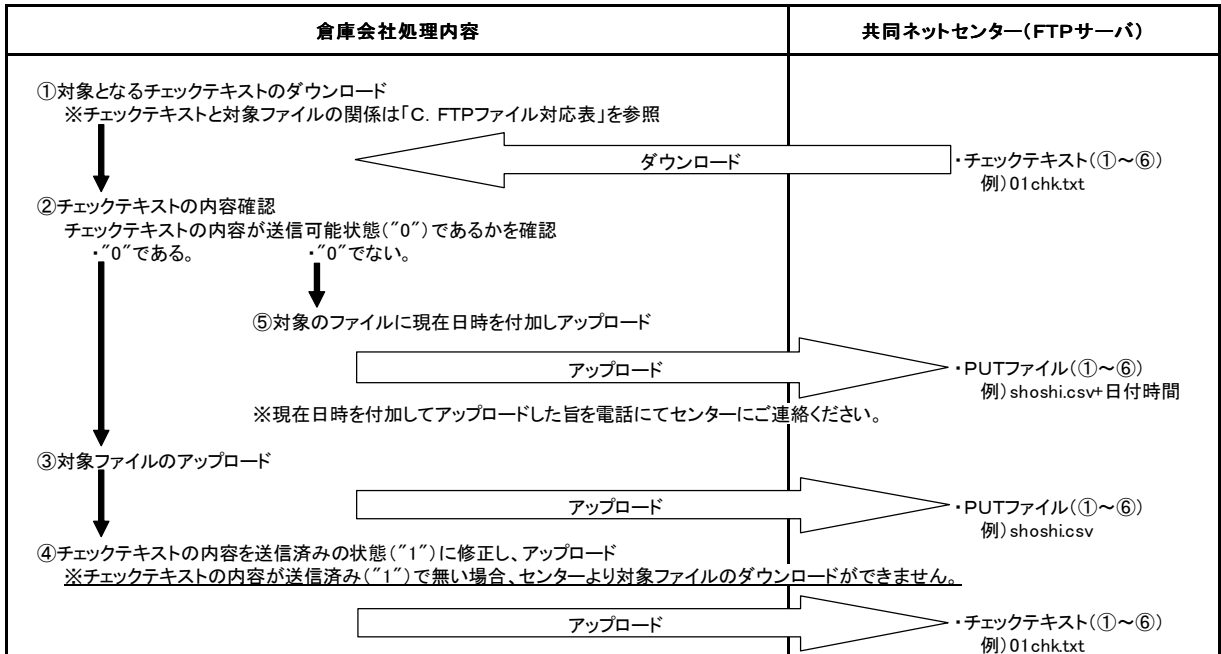
対象ファイル(⑦)GET時にチェックテキストを使用せずにファイルダウンロードを行うことも可能となります。  
 チェックテキストを使用しないことで重複データのチェックがより一層必要となりますのでご注意ください。



※ 共同ネットセンターで行われた処理結果は各倉庫会社の担当者様宛てにメールでご連絡します。(結果メール内容B)  
 ※ FTPフォルダ内にバックアップ用のフォルダを用意し、日々受注データのバックアップを保存します。(保存名は受注ファイル名+日付時間)

**B. チェックテキスト対応パターン**  
**・ファイルアップロード(PUT)**

対象ファイル各種(①～⑥)PUT時にチェックテキストをダウンロードし、確認を行うことでセンターの取込が完了していることを確認します。チェックテキストを使用して頂くことで、PUTデータの上書きによる前回データの紛失、センターの取込洩れを事前に防ぐことが可能となります。



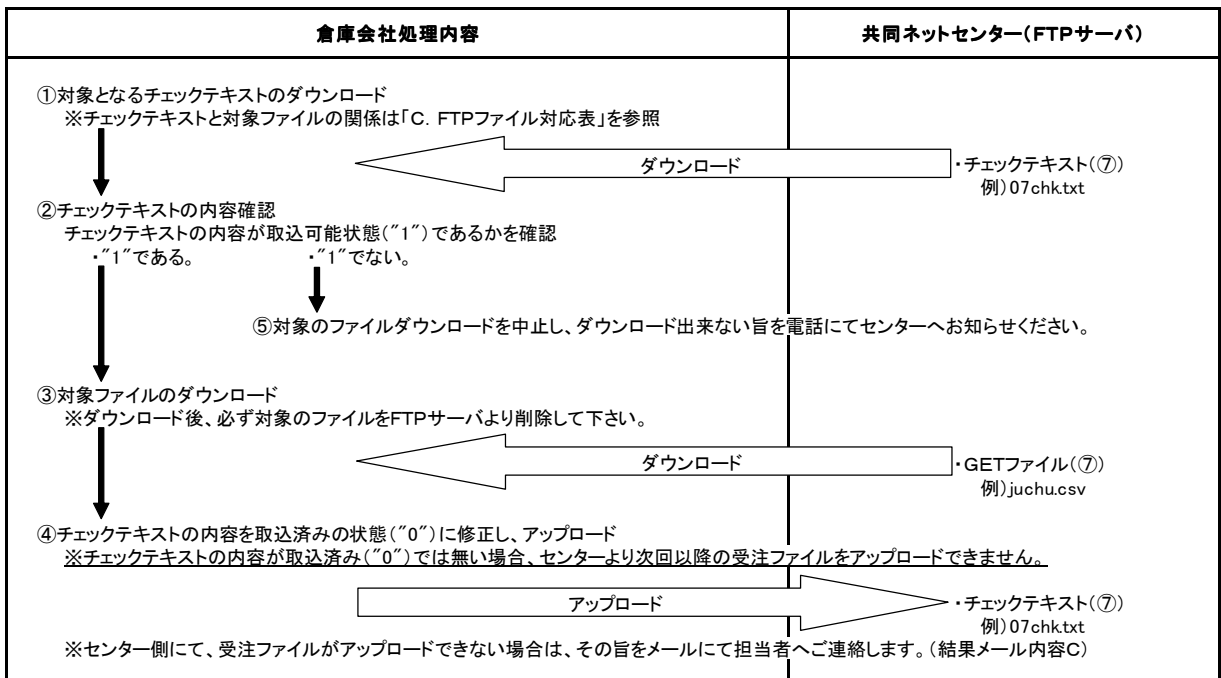
※ 共同ネットセンターで行われた処理結果は各倉庫会社の担当者様宛てにメールでご連絡します。(結果メール内容A)

※ データのPUTがタイムスケジュールより遅れた場合には電話にてセンターにご連絡ください。

遅れ分データのS-BOOKへの反映は翌日となります。(翌日分のデータと共にS-BOOKへ反映されます)

**・ファイルダウンロード(GET)**

ファイルアップロードと同様、対象ファイル(⑦)GET時にチェックテキストをダウンロードし、確認を行うことで同一のファイルのダウンロードを防止、重複データの作成を防ぐことが可能となります。



※ 共同ネットセンターで行われた処理結果は各倉庫会社の担当者様宛てにメールでご連絡します。(結果メール内容B)

※ FTPフォルダ内にバックアップ用のフォルダを用意し、日々受注データのバックアップを保存します。(保存名は受注ファイル名+日付時間)

**C. FTPファイル対応表**

No.	処理対象	処理区分	対象ファイル名	チェックテキスト
①	書誌データファイル	PUT	shoshi.csv	01chk.txt
②	削除データファイル	PUT	saku.csv	02chk.txt
③	在庫データファイル	PUT	zaiko.csv	03chk.txt
④	出荷データファイル	PUT	shuttuka.csv	04chk.txt
⑤	倉庫会社-倉庫支社-版元対応データファイル	PUT	souko-hanmoto.csv	05chk.txt
⑥	版元-取次対応データファイル	PUT	hanmoto-toritugi.csv	06chk.txt
⑦	受注データファイル	GET	juchu.csv	07chk.txt

#### 4. 2. 倉庫会社に送られる結果メール

センターシステムより、FTPへファイルのPUT、GETが行われた場合に、倉庫会社担当者様へ下記のメールを送信します。

##### A. 取込結果メール

センターシステムにてCSVデータを取り込んだ結果を各倉庫会社の担当者様に送信します。

件名: □□□□様 20XX年XX月XX日 □□データ取込結果の通知です

##### 内容

取込結果 取込レコード総件数=XXXXXXXX エラー件数=XXXXXXXX でした。

※ エラーは「倉庫会社」と「版元」のマッチングが出来なかった場合になど、センターに未登録のデータがあった場合などに発生します。

- ・書誌データ ⇒ 倉庫会社-版元対応データと対応しない。
- ・在庫データ ⇒ ISBN-版元と対応しない。(書誌データ不一致)
- ・出荷データ ⇒ 受注データの受注ID、ISBNと対応しない。

の三点が考えられます。

エラーとなったデータはシステムにて保留され、翌日以降に送られてくるデータと共に処理されます。

「倉庫会社-倉庫支社-版元対応」や「書誌データ」などが倉庫会社様より提供が行われ対応するデータが見つかった場合に通常のデータと同様に処理が行われます。

##### B. 送信結果メール

センターシステムにて受注データをアップロードした結果を各倉庫会社の担当者様に送信します。

件名: □□□□様 20XX年XX月XX日 受注データ送信結果の通知です

##### 内容

送信結果 送信レコード件数=XXXXXXXX でした。

##### C. 送信出来なかった場合の結果メール

センターシステムにて受注データのアップロードが出来ない場合に各倉庫会社の担当者様に送信します。

※メールには今回アップロードする予定であったファイルを添付いたします。

件名: □□□□様 20XX年XX月XX日 受注データ送信結果の通知です

##### 内容

前回送信したデータが未取込のままになっています。添付ファイルにより今回分を送信します。

送信結果 送信レコード件数=XXXXXXXX でした。

##### 添付ファイル

ファイル名「juchu.csv」に日付時間を付加したファイル

『juchu.csvYYYYMMDDHHMMSS』

## 改訂履歴

- 2006/07/10 3．データフォーマット 在庫データ更新
- 2006/07/14 3．データフォーマット ~ 、 タイトル部にデータ送信（「差分」「全件置換」「発生分」）の記述追加
- 2006/07/14 3．データフォーマット 書誌データBに著者名注意事項の記述追加
- 2006/07/14 3．データフォーマット 受注データ項目05、21の説明追加
- 2006/07/14 4．1．FTPファイル送受信方法について「C．FTPファイル対応表」訂正
- 2006/07/14 4．2．倉庫会社に送られる結果メール「C．送信できなかった場合の結果メール」メール内容追加
- 2007/02/15 2．データ種別の記述追加
- 2007/02/15 3．データフォーマット 書誌データAに注意事項の記述追加
- 2007/02/15 4．1．FTP送受信についての記述追加
- 2009/01/20 3．データフォーマット 書誌データAに雑誌に関する記述追加
- 2009/01/20 3．データフォーマット各種ISBNの説明項目変更。
- 2009/01/20 3．データフォーマット 在庫データの文章訂正
- 2009/02/06 3．データフォーマット 書誌データBに必須項目の記述追加